

～11人の議員が市政を問う～

※一般質問のタイトル及び質問内容は質問者の責任において作成しています。

一般質問

P 9 平方 嗣世 議員

- ガラス張りの市制について
 - 1 市民への信頼回復を目指した方策は
 - 2 合併協定事項の進捗と見通し
- 人口減少と蘇活について
 - 1 「医療のまち」「子育てのまち」「教育のまち」の重点施策
 - 2 小野上住宅団地造成と木の間温泉
 - 3 吾妻橋りょう2について

P 10 星野 安久 議員

- 安心して暮らせる老後への施策
 - 1 介護保険制度
 - 2 年金
 - 3 介護慰労金
 - 4 その他の施策

P 11 山内 崇仁 議員

- 子育て支援の充実
 - 1 母子健康手帳の電子化について
 - 2 子育て支援拠点施設整備事業について
 - 3 子育て支援体制の連携について
- 障がい者福祉について
 - 1 発達障がい者の支援について
 - 2 各福祉資源の連携について

P 12 茂木 弘伸 議員

- 公共施設の利活用について
 - 1 坂東橋緑地公園自由広場
 - 2 旧小野上中学校体育館
 - 3 渋川市民ゴルフ場跡地

P 13 望月 昭治 議員

- 市道4-4244号線について
- 旧棚下小学校及び旧三原田小学校栄分校について
- 旧赤城南診療所跡地の利活用について
- 棚下不動の滝の道路について
- 市有林について

P 9 須田 勝 議員

- やすらぎとふれあい（生活編）
 - 1 合併後の地域格差
 - 2 自治会の再編統合
 - 3 各種募金、協力金、会費

P 10 安カ川 信之 議員

- 希望が行き渡る渋川のために
 - 1 子どもの貧困対策
 - 2 介護保険と渋川市の役割
 - 3 ゴミ減量化の取り組み

P 11 細谷 浩 議員

- これからの渋川市について
 - 1 農業振興について
 - 2 防災対策について
 - 3 生活環境整備について

P 12 丸山 正三 議員

- (仮称)北橋運動場整備工事について

P 13 加藤 幸子 議員

- 子ども・子育て支援制度
 - 1 学童保育所の現状と保育料について
- 災害対策
 - 1 午王川上流の護岸対策について
- 地域振興策について
 - 1 創作こけしの現状と今後のあり方について

P 14 角田 喜和 議員

- 環境問題について
 - 1 産業廃棄物行政について
 - 2 ゴミの資源化と収集について
- 手話言語条例制定について

一般質問の詳しい内容は会議録をご覧ください。
渋川市議会ホームページからご覧いただけます。

渋川市議会
ホームページ

会議録検索
システム

一般質問



やすらぎとふれあい（生活編）

須田 勝 議員

合併後の地域格差

質問 対等合併から10年経過した。伊香保石段街整備や中心市街地整備が主と感ずる。格差を認識し、どう捉え、今後どう考えるか。

企画部長 各地区の特性を生かしながら、様々な課題を克服し、市の目指す将来像を実現し全体の活性化に結びつくよう取り組みます。

質問 各地区の祭りの補助金にも格差がある。どう対処するか。

商工観光部長 各地区の祭りは地域に多大な役割を果たしています。市としても大切に考えていますので、今後検討していきます。

自治会の再編統合

質問 人口減で世帯数も減少、自治機能が低下している。行政が積極的に、再編成の指導をすべし。

市民部長 自治会の再編は、自治会が主体となって進めていくことが基本ですが、市としても自治会とともに研究していきたい。

各種募金、協力金、会費

質問 自治会に集金を依頼しており任意であるはずが、強制徴収と

なっている。集め方に問題あり。

特に社会福祉協議会は、会費を集めずに運営方法を検討すべし。

保健福祉部長 募金等の集め方は各団体が自治会にお任せしている状況です。社協は会員組織なので会費による運営が本来のあり方と考えます。自治会は地区社協の分会として協力いただいています。

阿久津市長の進退

質問 残り1年で2期目が終了。引き続き3期目を目指すのか。

市長 後援会や支援者と相談しながら今後の進退を考えていきたい。



赤い羽根共同募金



ガラス張りの市政・子育て支援

平方 嗣世 議員

ガラス張りの市政

質問 昨年の不祥事以降、市政に一点の曇りもあつてはならない。私が提唱した「ガラス張りの市政」を今後推進すると理解してよいか。

市長 ガラス張りの市政を推進するというところで、これからも進めさせていたただきたいと思えます。

質問 現在の不祥事防止策は職員向けであり、職員へ責任転嫁している。要は特別職の起こした事件、特別職の再発防止策を作るべき。

市長 組織的監視は難しいと考えます。地方公務員としての自覚と特別職の責任を持って職務にあたるのが基本になると考えます。

質問 市長の権限は法で保障されている。反面、責任も重大である。税金利用時間帯はすべてが公務であり、特別職の不祥事は市長にも監督責任がある。その自覚は。

市長 公務として日程にあるものは市長も承知しており報告も受けますが、公務以外のプライベートについては副市長が自分で責任を持って行動することになります。

子育て支援

質問 幼児の入院時の個室利用料金や出生前診断の保険適用外健診費用等に助成する考えはあるか。

保健福祉部長 入院に関する部分は今後の課題です。また障害者に差別のない社会の実現に取り組んでおり、助成の考えはありません。

質問 移住者住宅支援制度の対象者に市内在住者も加えるべき。

建設部長 市内個人住宅の建築確認申請は年間240件あり、このうち市内申請者は170件であることから、今後検討したい。



乳幼児健診